

SunSystems Financials

導入事例

SunSystemsは中東リビアでも導入されています

今回の事例は同業他社様から SunSystems を使用しているといううわさを聞きつけ、導入に至ったケースです。このお客様は、世界各地で石油を発掘しておられるお客様で、日本本社も含め各国の会計処理を ERP ソフトの SAP R/3 で行っていました。新たに中東のリビアに拠点を置くことになり、会計システムを検討していましたが、SAP R/3 を導入するほどの規模でも無いため、他に何か良い会計システムはないかと、調査をしていました。導入する要件としては、

- ・言語が英語
- ・複数通貨での処理
- ・リビア政府が要求する勘定科目体系
- ・リビア政府が要求するレポートフォーマットでの出力
- ・1ヶ月での短期間導入
- ・出資者別の収支を把握できること

ポイント：現地会計

- ・現地の勘定科目体系の利用が可能
- ・多通貨処理、多言語対応
- ・現地様式のレポート作成が可能
- ・1週間でセットアップ完了
- ・多分析機能

これらの要件を SunSystems は満たしておりました。

導入は、現地法人赴任の日本人担当者が、

ノートパソコンを1台抱えて、日本に1週間出張。

そのうちの5日間でセットアップ及び一通りのレッスンを終え、現地に戻っていかれました。

その後は1,2回連絡をもらいましたトラブルもなく、現在も稼動しております。

最終的にご判断いただいた材料として SunSystems の機能はもちろんのことですが、「同業（石油開発）他社のあそこも SunSystems をリビアで問題なく使用しているから間違いない。」というイメージがあったためというコメントも頂いております。

SUNSYSTEMS

日本国内だけでも1,200社、全世界で20,000社以上の実績があるサンシステムだからこそボーダレスなグローバル会計に対応します

FAXにてお申し込みください

受付FAXNo. 03-5770-8810

お申し込み欄	<input type="checkbox"/> 資料送付希望	<input type="checkbox"/> 個別説明希望	<input type="checkbox"/> その他ご要望・ご質問 ()	
御住所				
貴社名			ご所属	
御氏名			御役職	
E-Mail			TEL	
お問い合わせ先	太陽グラントソントン株式会社 システム部 TEL:03-5770-8833			

SunSystems Financials

導入事例

SunSystemsは本国レポートが必要な従業員10名 規模(小規模)の外資系企業にも導入されています

今回の事例は化学製品を扱っている外資系のお客様です。

このお客様は、海外関連会社から製品原料を輸入し、日本国内のメーカーに販売をしている企業様です。当時の会計システムは弥生会計（スタンダードアロン版）を使用していましたが、取引先が増えたことや、以前より、課題であった本国への連結用レポート作成、また、外貨の管理も Excel で管理しており、このタイミングでそれらを網羅するシステムの導入を検討していました。実は本社が ERP ソフトの SAP R/3 を使用していたのですが、従業員 10 人ほどの規模で、SAP R/3 を導入するにはオーバースペックという判断で、安価で要望を満たす会計システムはないかと、調査をしておられました。

導入する要件としては、

- ・オペレーション画面は日本語、
レポートは日本語（国内用）・英語（本国用）が必要
- ・外貨通貨の管理
- ・連結会計システム Hyperion との連携
- ・複数人数での会計処理
- ・予算内での導入

ポイント：小規模外資系企業

- ・本国用レポートの作成
- ・ボスは外国人、オペレーションは日本人
- ・簡単データ連携
- ・多通貨処理、多言語対応
- ・企業規模に合ったシステム導入（小規模）

正直、予算内というところは、苦労しましたが、その他の要望には応えることができ、無事、ご契約に至りました。会計連結システム Hyperion との連携に関しては、オリジナルでコード変換ツールを作成する案もありましたが、SunSystems オプションソフトの Infor PM Query&Analysis（旧：SunSystems Vision）を通じて、連結用フォーマットの形にダイレクトに Excel ファイルを作成して、それをインポートする方法を採用しました。このお客様は次のステップとして販売・仕入システムの見直しをしています。

FAXにてお申し込みください

受付FAXNo. 03-5770-8810

お申し込み欄	<input type="checkbox"/> 資料送付希望	<input type="checkbox"/> 個別説明希望	<input type="checkbox"/> その他ご要望・ご質問（ ）	
御住所				
貴社名			ご所属	
御氏名			御役職	
E-Mail			TEL	
お問い合わせ先	太陽グラントソントン株式会社 システム部 TEL:03-5770-8833			

SunSystems Financials

導入事例

SunSystemsなら世界中に散らばっている各国の会計データを本社で統合管理することができます

「国内外にある営業拠点の会計業務を、同一システムにより標準化する。」これが、経営陣から強い要望でした。

現地に駐在するスタッフは通常3~4年のローテーションで異動しますが、会計業務の概略は同じでも、細かい手順や方法が異なるため、異動時の引継ぎには時間がかかります。また、データを受け取る東京本社側でも、データの再入力の手間があったり、勘定科目体系が統一されていないため、各会社を合算する作業も非常に困難で月次締め処理の集計作業だけで、1週間以上を費やしていましたといいます。

SunSystems Financials（旧SunAccount）導入後は各拠点の環境（多通貨・多言語）に合わせた会計システムの構築ができるようになり、経理担当者の引継ぎについても、世界70ヶ国以上にサポート拠点があるため、トラブル発生時の対応も現地でのスムーズな対応が可能になりました。本社サイドとしても、月次の経理諸表及び決算報告書などの会計データが、SunSystems Financials（旧SunAccount）により同一のファイル形式で転送されてくるようになったため、入力業務は一切解消されました。さらに各国の勘定科目コードをマッピングできる複数会社連結機能を利用することにより、グループ全体の数字を短期間で集計することが可能になりました。

ポイント：グループ会計

- ・コード体系の違う複数会社の管理が可能
- ・多通貨処理、多言語対応
- ・単純連結機能搭載(各拠点のデータを合算することが可能)
- ・自由帳票設計(出力帳票のレイアウトをいくでも作成可)

SUNSYSTEMS

日本国内だけでも1,100社、全世界で20,000社以上の実績があるサンシステムだからこそボーダレスなグローバル会計に対応します

FAXにてお申し込みください

受付FAXNo. 03-5770-8810

お申し込み欄	<input type="checkbox"/> 資料送付希望	<input type="checkbox"/> 個別説明希望	<input type="checkbox"/> その他ご要望・ご質問 ()	
御住所				
貴社名			ご所属	
御氏名			御役職	
E-Mail			TEL	
お問い合わせ先	太陽グラントソントン株式会社 システム部 TEL:03-5770-8833			

SunSystems Financials

導入事例

SunSystemsなら、I-STAR®(ホールセール証券バックオフィスシステム)との
インターフェイスが可能となり、より柔軟な管理会計分析が可能です。

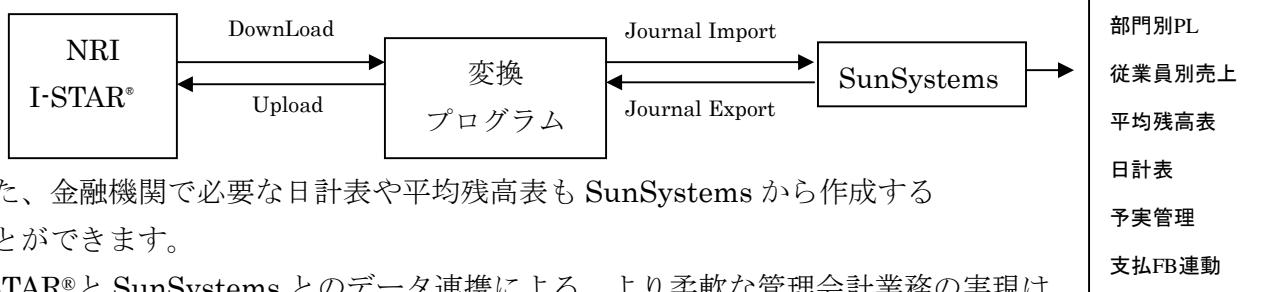
我が国の金融マーケットにおいて、多くの外資系投資銀行様は、バックオフィス・決済管理システムとして I-STAR® (提供元：(株) 野村総合研究所) を導入されています。

I-STAR®は日本における決済制度や法定要件に準拠し、また多通貨会計機能等も合わせもつ統合化された共同利用型サービスです。I-STAR®を導入することにより、証券ビジネスの立上げがスムーズになり、短期間で安定した業務がスタートできるとの評価を受けています。

この I-STAR®にて作成される約定決済に伴う会計データを元に、より細かく管理会計上の分析をしたいというお客様からのご要望により、実現したのが『I-STAR®と SunSystems』のデータ連携です。

I-STAR®と SunSystems 間において相互に読み込める変換プログラムを導入することにより、I-STAR®の会計データを SunSystems にインポートしたり、また逆に SunSystems のデータを I-STAR®にアップロードすることが可能になります。

【イメージ図】



また、金融機関で必要な日計表や平均残高表も SunSystems から作成することができます。

I-STAR®と SunSystems とのデータ連携による、より柔軟な管理会計業務の実現は、既に多くの投資銀行において実績があります。長期間かけて専用の管理会計システムを構築することなく、非常に短期間に導入することができます。

申込書 受付FAXNo. 03-5770-8810

お申し込み欄	<input type="checkbox"/> 資料送付希望	<input type="checkbox"/> 個別説明希望	<input type="checkbox"/> その他ご要望・ご質問()
貴社名			ご所属
御氏名			御役職
E-Mail			TEL
お問い合わせ先	太陽グランツソントン株式会社 システム部 TEL: 03-5770-8833		

SunSystems Financials

導入事例

日本本社主導による在外子会社管理(アジア圏への導入)

今回ご紹介する導入事例は本社が日本でアジア各国（韓国・台湾・シンガポール）に在外子会社がある会社様です。

元々、各国ともに現地のシステムが導入されており、本社から見ると別々の勘定科目や分析コードの基本コンセプトが統一されておらず、連結データの統一性、信頼性に疑問があり、さらに各国からのデータ収集に時間がかかっていました。

今回のプロジェクトではシステム選定の前に、どのように管理していくかということを、日本本社側で立案。その管理を実現するためのツールを検討した結果、安価で機能が充実していた SunSystems（サンシステム）を導入していただくことになりました。

本社側で考えていた管理項目は大きく4点。『四半期連結決算の早期化』、『グループ全体の知識の共有と伝達』、『統一的視点に立ったグループ全体での管理会計』、『システム管理コストの軽減』がありました。

これらを網羅するために、各国に対して、『統一したシステムの導入』、『勘定科目の統一』、『分析コードの統一（グループ共通の切り口）』を本社主導でプロジェクトを遂行していきました。SunSystems（サンシステム）はグローバル管理に必要な多通貨管理、多言語機能、複数会社処理、自由レポート作成機能があり、今回のプロジェクトに非常に効果的なシステムになりました。

韓国から導入を始めたプロジェクトは台湾、シンガポールと導入した後、最終的には日本にサーバーを置いて、各国から遠隔操作する管理方法を適用し、IT基盤の統一管理も実現させ、計2年間かかったプロジェクトは無事終了しております。

申込書 受付 FAX No. 03-5770-8833

お申し込み欄		<input type="checkbox"/> 資料送付希望	<input type="checkbox"/> 個別説明希望	<input type="checkbox"/> その他ご要望・ご質問（ ）
貴社名			ご所属	
御氏名			御役職	
E-Mail			TEL	
お問い合わせ先	太陽グラントソントン株式会社 システム部 TEL:03-5770-8833			